

やまいき市 再始動!

詳しくは13P



●主な内容●

かわかみ社中通信	清流	ふるさとワーキングホリデー 地域づくりインタビュー 2・3
12	5	

川上宣言

一、私たち川上は、これから育つ子供たちが、自然の生命の躍動に素直に感動できるような場を作ります。

(川上宣言は全部で5つの項目になります。
毎号1項目ずつ掲載していきます。)

源流の村と若者

交流の夏

働きながら地域を知る

ふるさと

ワーキングホリデー

ふるさとワーキングホリデーとは、都市に暮らす若い人たちが、一定の期間、川上村に滞在し、働きながら、川上村とのかかわりを深めてもらうことを目的に実施しており、今年で3回目を迎えました。

8月8〜23日の約2週間、参加者4名は村の事業所に勤務しながら、



ら、川上村での生活を体験しました。

参加者からは「普段の日常を抜け出した川上村での生活や住民の方々との交流は、『豊かさ』の違いを実感できた貴重な経験となった。是非また川上村にきたい。」との声をいただきました。

また、今年度のふるさとワーキングホリデーは2回の実施となり、9月12日より第2期の参加者が川上村を訪れます。村民の皆さまにおかれましては、ぜひ温かく迎え入れていただけたらと思います。



ふれあいを通して
地域とのつながりを考える
地域づくり

インターン

8月9日〜22日、川上村地域づくりインターン事業に大学生5名が参加しました。この事業は、地域とのふれあいの中から川上村に関心を持ち、その後の人生に生かしてもらうことを目的として平成10年から実施しています。

学生たちは、川上村を学ぶレクチャーや村内機関でのインターン、地域行事の参加を通して、地域を紡いでいくために必要なことは何かを考えました。最終日にはこれらの経験を今後の自分と川上村とのつながりにどう生かしていくかというネクストアクションを発表しました。



インターンに

参加して



鳥取大学
地域学部
グエン・ホアン・ハウ さん

2週間、お世話になりました。初めて川上村に行ったばかりの時、地域づくりインターンについて右も左も分からない状態から、様々なコミュニケーション活動に参加した経験は自分にとって大きな自信につながりました。

今、過ごした時間を改めて振り返ると、楽しかったという感謝を持ちます。仕事をしたり、交流したりして進めた時間はハードで苦しいこともありましたが、最後、成功したことを考えると達成感が勝ります。

今回のインターンシップを通して、楽しむという価値観は今回だけでなく、今後どんな場面においても大切にしていきたいと思いました。



明治大学
法学部
寺山 美穂 さん

まずは、私たちを温かく迎え入れてくださった川上村の皆様、短い期間でしたが、本当にお世話になりました。

はじめ、自分の住んでいる場所から遠いところでインターンに参加することの不安はとても大きかったです。しかし、離れた地域点、出会った方々の水源地の村づくりへの熱い想いを受け、インターン生同士で川上村に対して出来ることや、やりたいことを話したり、将来を見つめ直したりと、「考える」機会を多く頂きました。短い2週間でしたが、多くの貴重な経験をさせて頂きました。このインターンで考えたこと感じたことを自分の将来に生かし、そして川上村にも還元出来るように精進していきます。本当にありがとうございました！



明治大学
法学部
村上 正晃 さん

川上村の皆様、2週間という短い間でしたが本当にお世話になりました。インターンシップに来るまでは、「川上村って人口も少ないし活気はあるのだろうか？」という疑問を抱いていました。しかし、川上村で2週間過ごしてみても、私の「田舎」の概念は変わりました。都会にはない不便さがあるからこそ、村民の皆様で助け合い、不自由さを自由にかえる知恵には、私の考えを根底から変えさせるものがありました。正直、2週間で川上村を満喫するのは不可能です。それほど川上村には魅力が詰まっているのだと思います。川上村で学んだことをこれからの糧にして、人生歩んでいきたいと思っています。本当にありがとうございました。



明治大学
政治経済学部
宇津木 友佳 さん

2週間という短い中でとても多くのことを学ばせてもらい、濃い時間を過ごさせて頂きました。私がこの村を訪れたきっかけの1つに「リピーターを生んでいる村だから」という理由があります。この夏過ごして私ももう1回行きたいと思ったし、みんなにも行ってもらいたいという思いが出てきました。

自然・人・食といった多くの面から訪れた人々に愛されている素敵な村で過ごせたことは私にとって宝物です。

これからもっと多くの人たちに川上村の魅力を伝えていけたらと思います。

川上村の皆さん2週間本当にありがとうございました！



多摩美術大学
美術学部
山田 彩夏 さん

私はこのインターンで住人として生活しながら、村を俯瞰して見るといふ今までにない体験をさせて頂きました。その中でも印象に残っていることは「課題解決の奥深さ」です。

私はいつも何か残そうという決断することを優先してきました。しかし、今回インターンに参加して、果たして解決することがベストなのか、解決とは何かと何度も考える機会がありました。

そして考える中で、色んな人の話を聞いたり、膝を突き合わせて考える事の意義を感じました。

改めまして川上村地域づくりインターンの関係者の皆様、村の皆様、二週間お世話になり、本当にありがとうございました。

また川上村行きます！その時はよろしくお願いします。



さらに、前へ

大地に多くの恵みをもたらす雨。何度も繰り返しますが、昨今その雨の「降りよう、降り方」がとても気になります。昔ふうと言うと、土砂降りの雨が「地域を限定して、かつ短時間」で降っています。

まさに、好ましくない事が常態化しており、各地に甚大な被害をもたらしています。

昨年に続きこの夏も、お盆前後にどちらかと言うと強い雨に縁のない東北、北陸、北海道で豪雨が記録されました。台風8号の襲来はもとより、毎日のように前線の停滞が起こり、記録的短時間大雨情報の発令、線状降水帯の発生等々が報道され、心が安まるどころか恐怖さえ感じる日々であったと思います。

あらためて被災地の皆さまに心よりお見舞いを申し上げますとともに1日も早い復興

をお祈りしたいと思います。

異常な雨の降り方は、「気がかりなこと」ではなく、統計や記録データ上で明確に見えます。先般、NHKが放送したニュースによりますと、例えば8月1日から20日までの間の降水量（平年比）は、青森県のF町で740%、A市で610%であった、とされていました。また140年あるいは80年という観測史上最も多い雨と記録された地域も多数ありました。明らかに「異常事態」であります。気象庁では、昨今の猛暑や大雨の要因に「偏西風の蛇行」があるとしています。今後、詳しく解析されると思いますが。まさに本格的な台風シーズンです。さらに防災意識を高め、家のまわりの整理整頓、非常持出袋の点検など出来るかぎりの「備え」をしましょう。

かわかもんがゆく。

—地域おこし協力隊活動記—



みなさんこんにちは、協力隊2年目の松谷です。協力隊の活動を始めてから早1年が過ぎました。川上の暮らし、もとより1人暮らしにも落ち着きが見えてまいりました。地域の方の温かなご支援もあり元気に過ごさせてもらっています。

さて、実は8月の期間はコロナにかかってしまいほぼ寝たきりの状態でした。どこで感染したのかも全く心当たりがなかったため、このご時世に出歩く怖さを改めて実感いたしました。

コロナにかかるとまず10日間の隔離生活が始まります。1人暮らしなので他者にうつしてしまうリスクが無いのはいいのですが、隔離中特に大変だったのが食事です。まず食欲がなさすぎて食べられませんが、でも食べないとビタミンや亜鉛が不足して脳が働きません、そのためブドウ糖を多く摂取できるゼリーをたくさん飲みました。たとえ吐いても胃に入れる

ことが大事だと思い必死に耐えました。食糧も3日ほどで尽きてしまったため、心配してくれた近所の方や仕事仲間が家の庭まで持ってきてくれました。おかげで今は回復し、元気に仕事をしています。幸い味覚障害などの後遺症もなかったです。たまにばーっとすることがありますがこれは元からだと思います。

協力隊の活動も進んでおり、移住定住促進を目的とした移住者向けの動画を制作いたしました。こちらは源流ツーリズムでご覧いただけますので是非足をお運びください。最近滞っておりました協力隊密着動画の方も制作中ですので是非ご期待ください。



かわかみ源流ツーリズムの

「ひとめぐりかわかみ」

8月実施の体験プログラム

21日(日)、「書道家・土井一成さんから教わる杉板書道体験」を実施しました。林業家でもある土井先生から吉野林業についてのお話を伺い、朝日館での昼食の後、杉板一枚に一発勝負の清書をしました。参加者からは、「老舗旅館の由緒ある雰囲気の中、とても貴重で充実した時間でした。」との声をいただきました。

2日(火)には、村民限定の星空観察会を開催しました。この日



はこれまでにないくらいの好条件で、満天の星空。光害が少なく、空気のきれいな村だからこそ見られる星空は立派な資源です。改めて川上村の夜空の美しさを体感していただける機会となりました。

村民限定の星空観察会を

企画しています！

9月30日(金) 18時30分～20時

村民限定 星空観察会

星空案内人と一緒に、望遠鏡で「月」と「土星」と「木星」を見てみましょう！事前申し込みが必要です。先着5組20名。雨天中止となります。

【問い合わせ先】

かわかみ源流ツーリズム

TEL 52・0333

営業時間 9時～17時

(水曜定休)

ホームページはこちら▼



清流

新型コロナウイルスは第7波。過去最多を更新している毎日だ。願わくばコロナにかかりたくない。でも誰がなってもおかしくないなあ。と思っていた矢先、家族の一人がコロナウイルスにかかった。

「熱があるみたい。」と言うので夏風邪は厄介やけど、この暑さ、このところの疲れもあるんだろうと翌日は仕事を休み、発熱外来に電話をして診療所へ。抗原検査と念のためにPCR検査を受けて帰って来た。その日は、熱が高かったが、おかいさんなど風邪の時の食事らしいものを食べ、「やっぱり、風邪やったんや。明日も会社休む方がいいなあ。」とかいいながら、氷枕、おでこに凍ったタオルを当てて一晩寝ると、翌日は熱も下がったようで、本人もけろっとして出勤。9時前診療所から電話があり、会社に行ったと言うと、「行かばったんですか。PCR検査の結果出るまで家にいるように」と言っていたのですが…と。そ

れから本人の携帯電話に連絡しますと。結果は本人のみとの事。その後、携帯電話に連絡すると陽性。家に帰ると。

わく大変。ワクチン4回打っているのに…恐れていたことが…やはり他人ごとではない。でも困る。私は濃厚接触者やん。とか思いながら、2階の角部屋に隔離して当面を凌ぐしかないと思計なものは空き部屋に入れ部屋掃除。使っていた布団も干して、シーツや掛け布団も洗濯。そうこうするうちに帰って来て、マスクして距離を置いて大声で今後の話。そのまま2階の隔離部屋にも行かず1階をうろろ。「私になったら2倍の間使用うのも困る。」と言ってしまふ。それからは上げ膳据え膳で食事を2階の階段に運んだり、お姉さんが来てもコロナになった事を玄関で伝え、帰ってもらったり。私の2日続けての用事もキャンセル。その日私は化粧水を付けたまんまの顔だった。

濃厚接触者

クマの出没にご注意ください

今年はツキノワグマの目撃情報が多数報告されています。

クマは基本的に、臆病な性格で人を避ける動物ですが、突発的に出会えるとパニックになり人を襲うことがあるので、十分に気を付ける必要があります。

クマによる事故を防ぐために、次のことに注意してください。

■クマをおびきよせないために

エサとなる生ごみや野菜、果実の廃棄農作物等は屋外に放置せずに除去する。

倉庫等に入り込んで採食することもあるため、きちんと施錠するなど管理を徹底する。

農地等へ電気柵等を設置する。

■クマと出会わないために

クマ鈴やラジオなど音が出るものを携帯し、自分の存在をアピールする。

目撃情報や出没情報に気を付け、なるべく近づかない。

活動が活発になる夕暮れ時、夜明け前など薄暗い時間帯の外出はなるべく控える。

やぶや草むらなど隠れ場所になりそうなところは注意する。



■もしクマに出会ったら

【遠くにクマがいる場合】

落ち着いてその場から離れる。

クマを驚かすので、大声を出したり、走って逃げたりしない。写真を撮るためフラッシュを使うのもやめる。

【近くにクマがいることに気がついた場合】

落ち着いてゆっくりとその場から離れる。その際、クマに背を向けずに、クマを見ながら足元に注意し、ゆっくり落ち着いて後退する。死んだふりや木に登って逃げるのは危険。

【すぐ近くで出会った場合】

急に動くと驚いて、攻撃してくることがあるので、冷静にあわてずクマが立ち去ってからその場を離れる。

突発的におそわれたら、両腕で顔や頭をガードして、大ケガを避ける。

クマの目撃情報がありましたら、くらし定住課（Tel52-0111）か吉野警察署（Tel0747-53-0110）までご連絡ください。



近年頻発する自然災害に備えるため、中学生以上の全村民を対象とした防災ヘルメットの配布を9月3日（土）に行いました。

例年であれば防災訓練を実施しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、避難訓練等は行わず、かわかみテレビを使用した村長メッセージの放送のみとなりました。

防災ヘルメットの配布は、各公民館等で行われました。多数の村民にお越しいただき、防災意識の高さを改めて感じました。

今後は台風シーズンの到来になります。非常持出袋や避難方法等を再確認していただき、災害の発生に備えましょう。

**防災ヘルメットを
配布しました**

高齢者保健福祉月間に伝えたい「フレイルのこと」

CSWのちよつと失礼します！特別編

◇フレイルを知っていますか？

「フレイル（虚弱）」とは、元気はつらつではないけど介護が必要でもない、その中間の状態のことです。筋力の低下や意欲の低下、閉じこもり傾向として現れますが、うっかりすると「年相応だ」と見過ごされてしまいます。

ところが実は、けがや病気などにより、突然要介護状態になるのではなく、このフレイル状態がきっかけとなる高齢者が多いことがわかっています。まず身体能力や筋肉量が加齢により低下、それに比例して運動機会が減ります。「ちよつと畑しんどくなってきたなあ」の状態です。すると物事を考えることも減っていき、認知や判断能力の低下につながります。「いつ種を蒔こうか考える必要なく、テレビの前でウトウト」です。また、動かないと食欲もわず、栄養が足りない状態となり、日

常生活を支える筋力も低下します。こうなってくると何をするにも億劫になり、人との交流もなくなつて、最終的に社会から孤立します。そして、何かの拍子にけがや病気を経て、要支援（介護）状態となります。だからわたしたちは、介護をイメージするずっと手前の、この「フレイル状態」を防ぐ必要があるのです。50代から、筋肉量は急速に低下すると言われます。「まだ早い」ではないのです。

◇村での取り組みを紹介します

健康福祉課では、身近な地域で集まってフレイルを防ぐ健康づくり「らくらく元気塾OB会」を支援しています。6月に、各地区の世話役さんが情報交換等をおこなう会が開かれました。「らくらく元気塾OB会」は、講師による運動指導と自主的な活動を組み合わせて実施されています。お世話役さんは、役場との連絡窓口を担当され、自主活動を工夫してくださ

る存在です。役場は各地区の活動に参加しておおよその状況を把握していますが、世話役さん同士の交流は初めてです。

ふたつのテーブルに分かれて自己紹介から始まりましたが、それぞれの事情や悩み、工夫が楽しくも真剣に話し合われました。パワーがすごい！！規模も始めた時期もさまざまですが、お互いに教えあい、励まし合っておられるように心に強く感じました。

会を通じてわかったことは、世話役さんは参加者だけが健康であればいいなんて考えていなくて、いかに地域みんなが心身健やかに、楽しく過ごせるかを考えてくださっているということです。だから「もういいねん」と参加しない人にも粘り強くお声をかけてくださったり、運動以外の活動を考えてくださったり、熱心なのです。めちやくちや優れたフレイル予防の取り組みでした。川上村の介護保険料が低く済んでいる要因のひとつかもしれないです。今あなたが来てくれて、おしゃべりして

笑ってくれることが、川上村の5年後の未来を変えています。運動も脳トレも、ましておしゃべりはひとりではなかなかやれない。でもみんなできたら、楽しくできます。少しずつがんばって、住み慣れた地域での暮らしを、みんな笑顔で生き生きと支えあっていきましょう！

（越智）



教育かわかみ

第116回 教育長通信

◇ご存知ですか？

～金剛寺の地藏菩薩と

狂言『川上』のこと～

神之谷にある金剛寺（妹背山金剛寺）本堂のご本尊は、龍乗地藏菩薩で、御名のとおり、金色の龍の上に乗っておられる珍しい菩薩様です。平安時代の作で、「木造地藏菩薩立像」として、1981（昭和56）年に村の文化財に指定されました。身近なところでは、かわかみらしいふの移動食品販売車が流す『川上小唄』の中で、「見たかな、金剛寺本尊様は、役の行者の投げ地藏」と歌われており、耳にはお馴染みと思います。

8月23日・24日の両日、年に一



▶ 龍乗地藏菩薩立像

度のご開帳がありました。

このお地藏様には、皆様よくご存知の『壺坂靈驗記』（お里沢市の物語。明治時代に作られた浄瑠璃で、歌舞伎や浪曲、講談等で演じられる。）の元になっている狂言『川上』があります。お里沢市の話はよく伝わっていますが、残念なことに、この狂言の存在を知る村民はほとんどいません。無理はありません。歌舞伎や浪曲、講談に比べて、狂言に接する機会はいくつにもありません。しかし、『川上村史』（通史編民俗・文学編P986）には紹介されていますし、川上村立図書館所蔵の『能・狂言事典』（平凡社）、『能・狂言鑑賞ガイド』（小学館）、『狂言鑑賞のために』（保育社）などに載っている有名な狂言なのです。

この狂言に描かれている夫婦の深い情愛と絆はいつの時代にも通じるものであり、併せて、仏の慈悲の深さをも考えさせられます。

元々は和泉流固有の作品とのことですが、現在では大蔵流や他の家元でも試演されているとのこと。かつて、野村流の内弟子となり、修行を重ねた結果和泉流を継ぐことになった方が、京都の劇

場で狂言を演じるようになったの

で、先ず川上のお地藏様にご挨拶とご報告のためにお参りをと来村されたことがありました。後日、京都での公演は大成であったとの嬉しいご報告をいただきました。

この度、何とかこの狂言を現地川上村で公演できないかとご奮闘くださる方が来村くださり、お地藏様ご開帳の折りに金剛寺にご案内致しました。丁度護摩の修法を終えられた呼子和尚とお話する機会が持て、有意義な一時を過ごせました。何とか村内での公演が実現できれば嬉しいことです。村民の皆様朗報をお伝えできよう頑張つて参ります。



和尚さんとの語らい

◇金剛寺の紹介

- ・寺名 妹背山大乘院金剛寺
- ・草創 白鳳時代 役 行者
- ・本尊 地藏菩薩立像
- ・本尊開帳 8月23日
- ・10時法要
- ・8月24日
- ・13時護摩法要
- ・毎月23日
- ・10時法要

・月次祭

毎月23日

9月・10月の学校の動き

11(火)	10(月)	8(土)	7(金)	4(火)	3(月)	10月(神無月 かんなぎき)	30(金)	29(木)	23(金)	22(木)	20(火)	19(月)	17(土)	16(金)	15(木)	14(水)
土曜日の振替休日	祝日 スポーツの日	川上村民大運動会	運動会準備	運動会予行・反省会	冬服更衣		英語検定	授業研究	祝日 秋分の日	村PTA研修会	祝日 敬老の日	祝日 敬老の日		秋の遠足	県・村教委学校訪問	見守隊立哨指導
											振替休日		紅葉祭			

○ 5月28日 親子理科教室

土曜参観の後、第11回の親子理科教室を開催しました。大阪工業大学ものづくりセンターの先生方にご指導いただき、1・2年生は「蒸気で進むよ！ポンポン船工作」、3・4年生は「金属を溶かして作るオリジナルペンダントトップ」、5・6年生は「電子工作 無線ラジコンロボットカー」に挑戦しました。ものづくりの楽しさを存分に味わい、科学に親しむ貴重な機会となりました。



○ 6月10日 お話し会

雫の会の皆さまにお世話いただき、お話し会を開催しました。絵本の読み聞かせをしていただき、子ども達は夢中に聞き入っていました。辞書に関心を持ち、豊かな心を育む機会となりました。



○ 7月7日 測量体験

4～6年生が、奈良県測量設計業協会主催の測量体験授業を受けました。測量とくらしの関わりのお話を聞き、計器を用いて様々な測量を体験しました。子ども達は初めてのお話しに聞き入り、興味津々でした。



○ 7月15日 陶芸教室

毎年、匠の聚にて、陶芸家の山本喜一先生のご指導で陶芸教室を開催しています。今年も子ども達は、先生のご指導を受けながら、作品作りに没頭しました。ろくろでの作品1点と、手びねりでの作品をいくつか作りました。出来上がった作品は、山幸彦祭りにも出品する予定です。



○ 6月23・24日 修学旅行

1日目は世界遺産の鬼ヶ城と那智の滝、トルコ記念館を見学し、2日目は白浜千疊敷、南紀白浜アドベンチャーワールドを訪れました。美しく雄大な自然の造形や動物との触れ合い、人道支援など、様々なことを学んだ2日間でした。友達との絆も深まり、これからの生活に活きる修学旅行になりました。



○ 7月10日 保育園交流会

1・2年生が、やまぶき保育園の3～5歳児と交流会をしました。小学生が遊びを説明し全員で楽しみました。子ども達は、ふれあいを通して多くのことを学び成長していることと思います。



図書館だより

9月19日は敬老の日

読書中の脳の様子を見る実験結果によると、文章で表現される情景、音、匂い、味などを想像しながら本を読むとき、大脳はそれらを実際に経験しているような働きを見せるそうです。読書はとても手軽な脳トレ。本を読んで頭や心を若々しく保ちましょう。

68歳、ひとり暮らし。きょう何食べる？

大庭英子／著（家の光協会）

ひとりごはんのいいところ・・・それは自由に献立を決められるところ。自分のペースで食べられるところ。そしてたまには高級な肉や魚を選べるところ！ラクに、美味しく、バランスよく、ひとりご飯を楽しむアイデアが満載です。



1964年と2020年 くらべて楽しむ地図帳

松井秀郎／編（山川出版社）

東京オリンピックの開催年として、現代日本を語るうえで欠かせない1964年と2020年。



このふたつの年の地図を地方ごとにくらべて見ることができます。56年間の自然の営みで、または人の営みによって、変わったところや変わらなかったところを楽しみながらさがしてください。

あなたの図書館エピソード

私と図書館との関わりは開館前になります。村に図書館を作るにあたり、近隣地域の図書館を巡り、遠くは滋賀県まで足を延ばして色々なことを学ばせていただきました。

開館後は図書館をたくさんの方に知ってもらい、利用してもらえるための方法を司書さんや図書館協議会の皆さんと知恵を出し合いながら進めてきました。また利用者の皆さまの口コミのお陰もあって、今では他町村の方にも足を運んでもらえる図書館になりました。

窓の外に広がる吉野川と川面に映る四季折々の風景に包まれたこの素晴らしい図書館が、利用者の方に永く愛され続けるように関わっていきたいと思っています。

（図書館協議会委員 玉井久勝さん）

「川上村のええところかるた」の読み札を募集しています。詳しくは「広報かわかみ」8月号の折り込みチラシをご覧ください。村立図書館までお問い合わせください。

図書館カレンダー

● 色の日が休館日 ●

	日	月	火	水	木	金	土
9月	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31			

	日	月	火	水	木	金	土
10月	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	

図書館は引き続き予約制で開館しています。ご来館の際はマスクの着用と手指の消毒にご協力おねがいいたします。

【問い合わせ先】

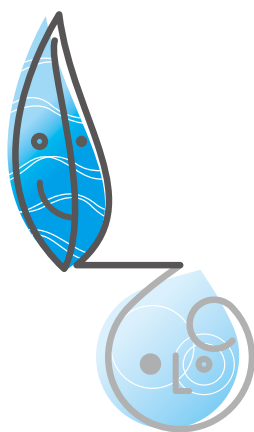
TEL 52-0144

ぼけますから、よろしくお願いします。

信友直子／著（新潮社）



東京で映像作家として働く娘は、広島の実家に帰省する度、認知症を患った母（85歳）とその母を支える父（93歳）の生活をカメラに収めます。娘半分、取材者半分の視点で綴られた、ありのままの家族の記録です。



森と水の源流館だより

September, 2022 vol.238

TEL 52-0888 FAX 52-0388 (水曜休館)

川上村の名所・旧跡 其の七十六

「屏風岩（北和田）」…柏木集落から国道169号線を大迫ダムの方に向かっていくと、対岸にそびえる屏風岩の絶壁を目にすることができます。今は訪れる人も少なくなった名所のひとつで、地元の子どもの遊び場にもなっていたそうです。

8月の水源地の森

川上村地域づくりインタン生たちと霧雨の水源地の森へ行ってきました。日差しのきつい日であれば木陰に入ると気持ち良いのですが、この日は森の内外でそれほど気温差はありません。むしろ、風を防いでしまう分、余計に暑い。風や砂、音を防ぐのも森の役割だと改めて実感させられた一日でした。

TOYOTASOCIALFes 『きれいな吉野川を 未来に残そうプロジェクト』

川上村の美しい森や川を求めて多くの方が訪れています。その一方で、ゴミの問題に悩まされています。30年前頃からゴミの不法投棄が目立つようになってきたという話を伺いました。これまでも吉野川マナーアツプキャンペーンなどが続けられてきましたが、現状はどうなっているのでしょうか。

8月11日（木・祝）山の日、15日（月）川上村役場が中心となって「しないでください！」と普及啓発に回られた直後の16日（火）に住民課のゴミ回収に同行、取材しました。中奥川、上多古川、三之公川、吉野川本流（東川）の4箇所、軽トラの荷台がたちまちゴミの山です。きれいな吉野川を未来に残すためにこの一部を持ち帰り、分析するイベントを20日（土）に当館で実施し

ました。新型コロナウイルス感染症対策のためもあり持ち帰れなかったものは写真で紹介しました。参加者の皆さまにはまず村が保全する吉野川源流―水源地の森や綺麗な川の映像をご覧いただいたので、同じ川上村にこんなにゴミが捨てられているのかと驚かれた様子でした。片付けられずにそのまま放置されたゴミ、その傍らに未使用のゴミ袋も捨てられていました。いったい何のために持ってきたのでしょうか？ポイ捨て禁



止の看板の前に置かれたゴミ、一応悪いことだと思っているのかこっそりと隠されたゴミ、民家の裏に捨てられたゴミ、たくさんありました。木や草に燃え移りそうなところに焚火のあともありました。反対に、前日に色とりどりのテントが並んでいても綺麗に片付けられていたところもありますので、一人一人の心がけの問題でしょう。

結果は、食べ残しなど生ゴミがゴミ袋特大サイズ8個、ほとんど中身の残っている調味料が7個、ペットボトル20個以上、未使用の紙皿やコップが50個以上、空き缶100個以上、空き瓶20個以上、バーベキュー網29個、トンング11個、包丁、はさみ、タープや折り畳みイスなどの大型ゴミ、未開封の木炭もありました。予想どおり、川遊びやバーベキュー、キャンプなどが原因だと考えられます。

参加者からは「ゴミになるものを減らすようにまずは自分が行動したい」「安く手に入るから簡単に捨てられるという消費のありかたを考え直さねばならない」という感想をいただきました。いつの日か「しないでください！」と言わなくても、きれいな吉野川を未来へ残せるよう、進んでいきたいですね。

木工センター事業へのご協力のお願い

一般社団法人吉野かわかみ社中では平成27年の設立以来、森林造成や基盤整備、人材育成支援等の公益目的事業と、村産材製品の製造販売を行う収益事業を、2本の柱として展開しています。

かわかみ社中では木製品の製造体制の強化や効率化等を目的に、子会社として「株式会社キトスム」を令和3年9月に設立しました。

そのなかで木工センターは、社中が村から指定管理を受けて運営している、木製品や建材等の製造を行う、(株)キトスムの村内拠点施設と位置付けています。

同センターでは、自社商品の製造に加え、木製品の注文生産や特殊加工等にも対応していますが、この度、植物由来の自然塗料で板材等を塗装するラインを導入し、令和6年4月開校予定である「かわかみ源流学園」の床材等の塗装を開始いたします。

併せて施設及び生産等の管理は、弊法人理事の菊谷能樹氏に担当いただきます。

また、技術職員は納期等のスケジュールに基づいて業務に従事しているため、作業中は現場対応が出来ません。加えて、施設内には刃物等の危険物も多いことから、不慮の事故を防止するため、下記担当者にご連絡のうえでお越し下さい。

木工作家や事業者の方々との連携協力体制は変わりません。引き続き、安全な作業等へのご理解とご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】 吉野かわかみ社中事務所 川上村大字迫1335-9番地

TEL 52-9555 FAX 52-9556 MAIL info@yoshinoringyo.jp 担当：上田・阪口

木工センター 関連図

川上村（所有者）



指定の意義（施設の設置目的）

川上村の森林資源を生かした新商品や利用方法の開発／村内事業者等の活性化

一般社団法人吉野かわかみ社中（管理主体）

設立目的…持続可能な川上産吉野材の一貫供給体制と情報拠点の構築

実施事業…6次産業化の推進に関する事業／吉野材の利用拡大に関する事業

（抜粋）／木材・木製品等の販売及び販路開拓や販売促進に関する事業 他

株式会社キトスム（運営主体）※吉野かわかみ社中傘下の株式会社

設立目的…木製小物製品の製造及び卸売／建築材料の2次加工及び3次加工／オーダー家具・什器等の製作及び改修／木材・木製品等の加工請負 他

設立理由…製造業を営む役員の参画による生産工程等の効率化／年間を通したフル稼働による収益及び村内雇用の確保／設備導入に係る有利な補助制度等の活用

木工センターの位置づけ…上記製品等の製造を行う村内拠点施設

運用ルール…木工作家や事業者との連携協力体制に変わりはないが、製造や加工等のご依頼やご注文、ご相談等は、吉野かわかみ社中事務所に事前連絡下さい
⇒作業中の技術職員による現場対応困難、及び施設内での事故防止のため

皆さま方のご理解とご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

やまいき市が復活しました！

8月21日（日）から「やまいき市」が活動を再開しました。
大変多くの方にお越し頂き、本当にありがとうございます。
川上村でとれた野菜はもちろん、お米や吉野川流域の果物なども販売しています。
ぜひ一度お越しください。お待ちしております！

営業場所・時間

毎週日曜日開催 ※中止・延期の場合がありますので事前にご確認ください。

- ・西河（かわかみらいふ配送センター前） 10時～11時頃
- ・迫（ふるさと市場・道の駅前） 12時頃～売り切れ次第終了



かわかみらいふ6周年感謝イベントのお知らせ

10月に「かわかみらいふ6周年感謝イベント」を予定しています。
日頃より移動スーパー、コープ宅配、かわかみSSをご利用いただく皆さまに、
感謝の気持ちを込めて、喜んでいただけるイベントを企画中です。
日程や内容は広報かわかみ10月号にて掲載いたします。お楽しみに！

【問い合わせ先】

かわかみらいふ TEL54-0521

活
やまいき市

吉野広域行政組合

からのお知らせ

さくら苑 だより

夏祭りを開催しました！

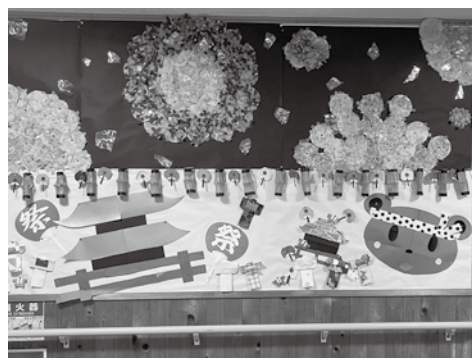
8月1日、2日にデイサービス内にて感染対策をとりつつ夏祭りを開催しました。少しでもお祭りの感じを味わって頂くためその場で調理した、たこ焼きを食べて頂き景品がもらえるくじ引きやカラオケなどで楽しいひと時を過ごしてもらいました。

また、特養の利用者様には鮎の甘露煮を提供させて頂きました。



高齢者の皆様にも骨まで食べていただけるようにじっくり時間をかけて煮込んだ甘露煮を美味しく食べてくださっていました。

最後に広報誌が配布される時期は残暑が厳しい時期であると思いますが、地域の皆様におかれましてはお体をご自愛下さいますようお願い申し上げます。



【問い合わせ先】

特養 さくら苑
TEL 0746-32-8950
吉野広域行政組合
TEL 0746-39-9245

※現在さくら苑では面会規制を行っております
面会希望の方は事前にご連絡ください。

9月はおたすけシートの強化月間です！

川上村救急向上委員会です。

おたすけシートをご存知でしょうか？

昨年、民生児童委員の皆さんにご協力いただき、村民の皆さんのお手元にお届けしました「いのちを守る」大切なシートです。

おたすけシートの情報は、救急搬送するために、また医療機関で適切な処置を施すにあたっても大切な情報となります。

村内の救急時においても、おたすけシートが活用された事例が報告されております。

紛失された、記入事項に変更があったなどの場合は、新しいシートをお渡しさせていただきますので、お声がけください。

「備えあれば憂いなし」

もしもの時に備えましょう。

【問い合わせ先】 健康福祉課 TEL 52-0111

おたすけ シート			
もしものときに備えてこのシートを冷蔵庫に保管！			
令和〇年〇月〇日作成			
お名前	アザナ 川上 太郎		
生年月日	大正〇〇年〇月〇日	〇年 〇月 〇日	
住所	吉野郡川上村大字 〇〇100番地		
固定電話番号	0746 - 〇〇 - 〇〇〇〇		
緊急時の連絡先①	氏名	フリガナ	電話番号0123-45-6789
緊急時の連絡先②	氏名	フリガナ	電話番号0123-45-6790
緊急時連絡先①・②の方には、記載の事をお伝えください。			
最新の「薬剤情報提供書」も一緒に保管しましょう！			
その他連絡事項 (例、薬を服用したときにアレルギー反応が出た。)			
今、高血圧の薬を飲んでいる。			
自分で判断をせず、しんどい時は 119番(救急)に電話をしましょう！			
この救急情報を、救急隊と搬送先の医療機関が救急医療に活用することに同意します。			
本人氏名	川上 太郎	印鑑又はサイン	

後期高齢者医療の保険証切り替えのお知らせ

10月1日に後期高齢者医療制度が改定されることにより、10月1日より使用できます保険証を郵送（簡易書留郵便）にて送付します。現在お持ちの保険証は、有効期限が9月30日までとなっておりますのでご注意ください。10月1日以降に各自で裁断するなどして廃棄するか、役場住民課へ返却して下さい。有効期限が切れたまま、病院や診療所等で治療を受けた場合は、医療費が全額自己負担となりますのでご注意ください。

発送予定日：9月20日（火）

【問い合わせ先】

住民課 後期高齢者医療保険係 TEL 52-0111

自殺予防週間について

9月10日の世界自殺予防デーからの1週間(10～16日)は、自殺予防週間です。

最近よく眠れない、何をしてもおっくう、気持ちが落ち込むといったことはありませんか。

1人で悩まず、誰かに相談しましょう。

【問い合わせ先】 健康福祉課 TEL 52-0111

相談窓口	電話番号	相談日・受付時間等
奈良いのちの電話	0742-35-1000	年中無休：24時間対応
ならこころのホットライン	0744-46-5563	平日：午前9時～午後4時
ならこころのホットライン (平日夜間・土曜日)	0742-81-8527	平日：午後4～8時 土日祝：午前9時～午後8時 ※受付は午後7時30分まで
自死遺族等支援 「よりそいの会あかり」	0742-35-7200 0742-93-8397	火曜日：午前10時～午後4時 木曜日：午後1時30分～4時30分
よりそいホットライン	0120-279-338	年中無休：24時間
DV相談+	0120-279-889	電話・メール：24時間 チャット：正午～午後10時
24時間子供SOSダイヤル	0120-0-78310	24時間



川上俳句会

森井美知代選

特選 次の足どこに置こうか登山靴

前田 景子(大滝)

評 山登りは年中できるが、季語としては夏である。この句は、かなり険しい山登りをされていると受けとれる。先達について岩壁を登られたのであろうか。次の足をどこに置こうかと迷っておられる。実際に体験したものしか作れない一句である。

特選 一徹を通して父の墓洗ふ

上田 一郎(伯母谷)

評 太平洋戦争を生き抜いてこられた父上は多分頑固に自分の意思を押し通す正義感の強い方であられたことが想像される。その父に育てられた自分は学ぶことが多いと、感慨深く墓参されたのであろう。

特選 清々しき木綿八つに裂き夏祓

望月 彰美(迫)

評 六月末日はこの半年に受けた穢れを祓い流すために産土神にお参りする。この神社では丁寧に木綿を八つに裂いて穢れを祓い、明日からの新しい出発を祈ってくれる。こんな行事はいつまでも残してほしいとつくづく祈る。

準特選 永らへて先祖を祀る晩夏かな

準特選 青田風昔ながらの瓦屋根

住川 準典(武木)

高原の宿は赤屋根夏木立

辻井 清子(大滝)

夏木立すかして上に家二軒

松本 全代(大滝)

夜水番父は幼な児連れて来る

新子谷生子(北和田)

選者吟

地震、台風
水害、災害が
毎年のように
日本各地で
おこっている

てんいち先生



(川上村人権・同和問題啓発活動推進本部)

診療所 からののお知らせ

【整形外科診療日】

と き 9月21日(水)

受付時間 午前8時30分～11時30分

【巡回診療日】

と き 9月27日(火)

受付時間 午後2時～3時30分

ところ ふれあいセンター(北和田)

※受診される方は保険証をご持参ください。

【問い合わせ先】 川上診療所 TEL 52-0344



へき地巡回診療(眼科・耳鼻科)

中止のお知らせ

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、南和広域医療企業団による「へき地巡回診療(眼科・耳鼻科)」が中止となりましたのでお知らせします。

【問い合わせ先】 健康福祉課 TEL 52-0111

～樹と水と人の共生・川上村の情報～

かわかみ満足ガイド

森と水の源流館

○水源地の森ツアー

と き 令和4年11月3日(木・祝)・令和5年3月19日(日)

じかん 午前9時30分～午後4時30分

ところ 水源地の森(森と水の源流館集合・解散)

定員 20名(小学生以上)※申込メ切は実施日の1か月前となります

参加費 村内在住在勤者割引価格 大人 2,000円 小人 1,000円

【問い合わせ先】 森と水の源流館 TEL 52-0888



自宅療養者を支援します！

新型コロナウイルス感染症に感染し、自宅療養されている方へ健康福祉課が窓口となり支援を行います。



- 例) ・自宅療養となったけど、食料や生活必需品がない…
→買い物代行(移動スーパーで対応できるもの)を行います。
・自宅療養中、体調が不安…
→保健所からの健康観察とは別に、電話による個別相談に対応します。
・自宅療養中、薬がなくなってしまう…
→薬の手配に関するご相談に対応します。



<支援の流れ>

支援を希望される方は、川上村役場 健康福祉課(Tel52-0111)へ連絡。
または右のQRコードより健康福祉課宛に直接メールを送信することができます。
個人情報に配慮しながらきめ細やかに対応します。

トビズムカデ



かわかみの生き物

ムカデは百ある足(本当は21対42本)が歩調を乱さず何があつても前に進み続けることから協調性を持った勇猛果敢な「勝ち虫」として武士から好まれ、足の多さから「客足がつく縁起物」として商人からも好まれた。子煩悩な一面も持っており、メスは卵塊を2ヶ月程度抱卵して子ムカデになるまで保護するため、子孫繁栄の象徴にもされている。縁起物になるということは、行動や生態を観察する機会に恵まれて身近な生き物と言えたが、見た目で判断しがちな現代人にとってはただの不快害虫となっている。

村の人口

8月31日現在			
人口総数	1,259人	(+4人)	
男	599人	(+1人)	
女	660人	(+3人)	
世帯数	748世帯	(±0世帯)	
8月中の異動			
転入	7人	転出	1人
出生	0人	死亡	2人

おくやみ

辻本 嘉嗣様 (粉尾)

8月15日 90歳

社会福祉協議会への寄付

10万円 中平 節子様(北和田)
亡き夫の供養として

企業版 ふるさと納税

株式会社 櫻井(吉野町上市)

かわかみ応援寄付金

井上 千浪様(大淀町)
大辻 昭夫様(迫)
藤原 勇様(兵庫県)

広報かわかみ

令和4年9月12日発行

発行 奈良県川上村／編集 川上村広報編集委員会
〒639 3594 奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の7
TEL 0746-15210111
ホームページ <http://www.vill.kawakami.nara.jp>
メールアドレス soumu@vill.nara-kawakami.lg.jp